

令和4年第4回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
1	自由民主党 代表質問 1番 西川 宏 (質問方式) 一問一答	1. 子育てするなら 富田林をいっそう 目指して	(1) 学校教育施設について ①各小中学校が開校してからの年数、施設の築年数、及び耐震化工事の状況等について聞く ②学校教育施設長寿命化計画の進捗状況及び今後の課題と展望について (2) 現在の小中学校のトイレ改修整備状況について（屋内運動場も含めて） ①トイレ改修は洋式化だけではなく和式のままの改修等、他の改修整備も行われているのか具体的に問う ②令和元年度末の洋式化率は小学校33.8%中学校33.6%と以前答弁があったが、その後現在までの3年間でどの程度整備されたか、また今後の計画は (3) 子どもたちの安心安全を求めて ①府内各自治体の小中学校屋内運動場の空調設備設置状況について ②本市小中学校施設全体の空調整備の進捗状況、今後の計画・展望を聞く
		2. 市民の安心・安全・いのちを守る まちづくりの推進	(1) 緊急防災・減災事業債について ①この制度の概要について問う ②これまでどのような事業に活用してきたか (2) 災害時の避難所備品について ①備品の詳細について ②どのような管理をしているのか具体的に ③学校側との情報共有はできているのか、共同訓練等はしているのか (3) 避難所への空調整備について ①避難所となっている小中学校屋内運動場や市民総合体育館への空調設備の設置について、緊急防災・減災事業債、その他補助金や交付金を活用した整備を早急に実施して頂きたいが、今後の展望について市の見解は (4) 避難所運営のデジタル化について ①避難所において避難者情報収集や取扱い、本部との情報共有等についての現状、防災アプリの活用について ②デジタル庁が避難所運営にスマートフォンなどを用いデジタル技術を活用する実証実験を12月から行うが、情報をしっかりと追いかけて頂き、本市でもいち早く導入して頂きたいが市の見解を問う (5) 自宅療養者サポート事業について外部委託すると説明を受けたが、その後の進捗状況について聞く
		3. 富田林のさらなる 活性化、発展を 目指して	(1) 市の活性化・発展にかかせない市役所職員のモチベーション維持にも関係してくる「地域手当」について ①周辺自治体との格差について ②市独自で支給率を変更した場合の影響について ③保育所等の運営費等、職員給与以外に与える影響について (2) 市内企業の現状と企業誘致について ①本市の令和3年度の法人市民税納税義務者数及び税収と令和2年度から過去5年間におけるこれらの推移と検証 ②企業誘致に対して本市は今までもどのように取り組んできたのか ③大型企業を積極的に誘致していくことを希望するが市の見解を問う

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
2	大阪維新の会・無会派の会 代表質問	1. 地域総合拠点の開設と今後の展開について聞く。	(1) 地域総合拠点開設の経緯と役割について。 (2) こどもの安全確保や教育現場の負担等について。 (3) 今後の展開方法・見通しについて。
	11番 伊東 寛光 (質問方式)	2. 農業経営基盤強化促進法の一部改正による農業振興策について聞く。	(1) 本市の「地域計画」策定にあたっての取り組み方法について。 (2) 策定にあたっては、本市と地域農業者との連携強化を求めるが、見解を聞く。
	一問一答	3. 本市のマーケティング戦略について。	(1) 本市は人口減少とその対策について、現状をどのように捉え、どのような対策を行っているのか。 (2) 特に若い世代の転出を抑制する施策は重要だと考えるが、同時に転入者を増やすことも重要だと考える。 これまでの取り組みとその効果についてどのように考えているのか。 (3) 本市はマーケティング戦略の必要性や重要性等について、どのような認識を持ち、どのような取り組みを行っているのか。 ①本市は移住・定住促進施策において、どこまで明確なターゲットングができてきているのか。 ※年齢、家族構成、世帯年収、勤務地、現在の住まいや居住地域等、どこまで具体的にペルソナ (persona) を設定しているのか。 ②本市はターゲットのニーズ等をどのように把握しているのか。 ※特に市外在住のターゲットから直接、不満やニーズを把握するような取り組みをしてはどうか。 ③本市はターゲットに対して効果的な訴求ができてきているのか。 ※セグメントごとのニーズに合わせた訴求ができるような方法を模索してはどうか。
		4. 市長の給与（月額86万8,600円、年収約1,556万円）と退職金（約1,939万円）等について。	(1) 市長の報酬は地域手当を入れると月額86万8,600円、年収は約1,556万円である。また、市長は1期4年務めるだけで約1,939万円の退職金を手にする見込みである。 これらの金額の妥当性について市長はどのように考えているのか。 (2) 厳しい財政状況に鑑み、市長の退職金を全額カットしてはどうか。
		5. 行財政改革を推進するために。	(1) 「富田林市補助金等検討委員会提言書」を受けての、補助金の適正化・見直し等に向けた取り組みについて。 ①現在の進捗状況と今後の予定について。 ②補助金の適正化・見直しにあたっては、原課任せにするのではなく、見直すための仕組みや体制等が必要だと考えるが、執行部の見解を求める。

令和4年第4回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>(2) 行政評価の予算編成等への活用について。</p> <p>①現在の進捗状況と現状の課題、今後の予定等について。 ※事務事業評価や施策評価の取り組み状況等について、現状の課題など、現状に対する認識等も含めて問う。</p> <p>②そもそも執行部は行政評価を何のために実施しているのか。また、幹部職員はもとより、管理職、一般職も含めて共通認識を持っているのか。</p> <p>③ビルド&スクラップを推進するためにも、行政評価を予算編成等に効果的に活用する仕組みが必要だと考えるが、執行部の見解を求める。</p> <p>(3) 補助金の適正化・見直しや、行政評価を予算編成等に活用するための取り組みを、さらに実効性のあるものにするために。</p> <p>①庁内で検討する際には公開の場を設けて検討するとともに、会議録を公開してはどうか。</p> <p>②検討する対象（テーマ）等を絞った上で、有識者や市民で構成する会議等を設置し、会議録等を公開してはどうか。</p>
3	ふるさと富田林 代表質問 3番 坂口 真紀 (質問方式) 一問一答	1. 本市の今後の子育て施策と子育て支援の拠点づくりについて 2. SDGsモデル事業の現状と今後について 3. 学童クラブの更なる充実に向けて 4. 不登校児童生徒への取り組み状況と支援体制について	<p>(1) 児童館を合築ではなく子どものための単独施設にすることについて</p> <p>(2) DV相談と児童虐待対応の連携について</p> <p>(3) 子育て支援施設の機能について</p> <p>(4) 幼保のあり方も含め、本市の子育てビジョンについて</p> <p>(1) 介護予防・健康ポイント事業の周知方法について</p> <p>(2) 産官学医包括連携協定（TOMAS）との連携について</p> <p>(3) 商助をキーワードにした取り組みについて</p> <p>(4) 今後の情報収集と展開について</p> <p>(1) 学童クラブ内の環境整備の今後の見通しについて</p> <p>(2) 巡回アドバイザーの実績と今後の体制について</p> <p>(3) 学童指導員の質の向上と処遇改善について</p> <p>(1) 不登校児童生徒への情報提供について</p> <p>(2) 校内適応教室の現状について</p> <p>(3) ICTを活用した取り組みについて</p> <p>i ハイブリット型授業の実施状況について</p> <p>ii オンラインによるスクールカウンセラーとの面談の実施について</p> <p>(4) フリースクールへ通う児童生徒への補助制度導入について</p>
4	公明党 代表質問 14番 草尾 勝司 (質問方式) 一問一答	1. 災害時における食物アレルギーへの対応について	<p>(1) 公助の富田林市、自助の当事者それぞれの立場のアレルギーに対応した食料の備蓄について</p> <p>(2) 避難所におけるアレルギーなどに配慮が必要な方への対応や備えについて</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. サーキュラーエコノミー（循環経済）について	(1) サーキュラーエコノミーへの移行を目指すことが世界の潮流だが、認識について (2) サーキュラーエコノミーの取組拡大に向けては、市民へのエシカル消費などの普及・啓発が重要と考えるが、今後の取り組みについて
		3. 食品ロス削減に向けた取り組みについて	「食品ロスマッチングサービス（タバスケ）」の導入など、今後の取り組みについて
		4. 通級指導について	(1) 小中学校における通級指導教室の設置状況について (2) 現在設置されている通級指導教室での支援の状況について (3) 児童生徒の希望に沿った通級指導の課題とその対応について
		5. 発達性読み書き障がい（ディスレクシア）について	(1) 現状の把握と対応について (2) タブレットやデジタル教科書などによるサポートについて (3) 発達性ディスレクシア等発達障がいへの理解を促進するためのリーフレットなどを使った学習会や講演会を実施することについて
		6. 本市における生命の安全教育について	(1) 本市中学校における「がん教育」をさらに充実するために、外部講師などを活用することについて (2) 自己肯定感を育み、自分と相手を大切にする「生きる教育」をふまえた本市の取り組みについて（大阪市立田島南小中一貫校での「生きる教育」全学年公開授業を視察して）
		7. 在宅子育てへの取り組みについて	(1) 本市における就学前の在宅児童数（0～2歳児、3・4・5歳児）現状について (2) 在宅家庭への支援の状況について (3) 「在宅子育て支援金」などの創設を求めて ①所属のない3～5歳児へのアプローチとして導入してはどうか ②伴走型相談支援の充実として市独自に取り組んでどうか
		8. AI技術を活用した家庭児童相談・児童虐待防止の強化について	(1) 家庭児童相談・児童虐待の早期発見や業務の効率化、専門性を補完するために電話の内容を文字として認識するシステムの導入について
		9. 企業立地促進（優遇）制度などを設け、新たな企業や商業施設を誘致することについて（近隣自治体の状況も踏まえて）	

令和4年第4回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		10. 本市独自の地域通貨を制定することについて	(1) 近隣自治体である河内長野市・大阪狭山市・河南町の地域通貨の活用 の現状と大阪府の動向について (2) 本市経済の活性化が見込め、ボランティア活動や健康促進活動などと連 動する事で地域活動の活性化にも活用できる本市独自の地域通貨を作る 事を求めるが本市の見解は？
		11. 市民の安心・安全のための見守りについて	(1) 認知症高齢者の見守りと行方不明対策について ①本市の取組み状況について ②兵庫県加古川市などの実施事例にある「見守りビーコン」の導入について (2) 子どもの登下校時における見守りについて ①登下校に係る本市のICT活用状況について ②ICタグを活用した登下校における子どもたちの「見守りビーコン」の導入 を求めて
		12. 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の活用について	(1) 事業者への状況調査やニーズ調査を実施することについて (2) 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用することについて
		13. 子宮頸がんの予防のためのHPVワクチン接種について	(1) その周知方法と接種者数について (2) キャッチアップ接種の接種者数について (3) 9価ワクチンの効果と安全性についての国の見解と、その周知方法につ いて
		14. 交通不便地域での地域公共交通の導入に向けて	(1) 彼方上地区での地域公共交通実証運行の状況について (2) 他の地域への地域公共交通の導入について
5	とんだばやし未来 代表質問 7番 辰巳 真司 (質問方式) 一問一答	1. インターネット上の人権侵害への対応について	(1) 「大阪府インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会 づくり条例」をはじめ、自治体での条例制定状況と本市の見解について。 (2) 本市として誹謗中傷や差別等の人権侵害に対する、モニタリングの実施 を求める。
		2. 新庁舎整備の課題に対するデジタル技術を活用した対策について	(1) 分庁舎化に伴う行政窓口のワンストップサービスの対応について
		3. 農業支援について	(1) きらめき農業塾への支援の充実と修了生へのサポート体制について (2) 商品開発支援事業を通して開発された商品のPR体制について (3) 海老芋のGI保護制度登録に関して ①出願までの経過と現在の審査状況 ②GI登録後のPR機会の創出について ③GI保護制度やGIマークを広く市民に知ってもらうための機会づく りについて

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		4. 災害時に避難所となる学校体育館の設備の充実について	①エアコン設置について ②学校施設に整備されているWi-Fiの活用について
		5. 若年層の投票率向上にむけて	(1) 直近の国政選挙における若年層の投票状況について。 具体策として、市内にある大学に期日前投票所の設置の検討はどうか。
		6. (仮称)多文化共生・人権プラザの新たな役割について	(1) 施設の新たな役割や機能を充実させるために (2) 困難な問題を抱える女性を支援するための法律について、本市の見解を聞く。 (3) 本市における支援計画の必要性と女性相談支援機能等の充実を
		7. 2025年大阪・関西万博の本市の取り組みについて	(1) 本市における推進体制について (2) 共創パートナーとしての取り組みについて
6	日本共産党 代表質問 17番 岡田 英樹 (質問方式) 一問一答	1. 市民の置かれている状況について聞く	給与所得者の収入段階別調、一人あたりの収入、生活保護世帯数、就学援助率、年間出生数、保育所の保育料算定基準階層別区分での分布状況、国民健康保険料の1人当たり年額、介護保険料の1人当たり基準保険料、ひとり親世帯数、保育所待機児童数、特養待機者数、1人当たりの市民税・所得税額などについて、最新の指標と、10年前、20年前等との比較と、所感は
		2. 富田林市の保育事業の充実をもとめて	(1) 富田林市の保育所の配置基準と面積基準の現状と、改善の方向は (2) 現在の、富田林市の正職員と非正規職員の比率は (3) 非正規職員の退職などで、正規職員も仕事量の多さと責任の重圧で、仕事が続けられないなどの声を聞くが、職場の状況と職員の声をどう把握しているか (4) 0歳から2歳の保育料の無料化、3歳から5歳の給食費の無料化で安心して子育てできる支援を (5) 金剛保育園の定員の見直しは、充実の方向で進んでいるか (6) 「医療的ケア児の受け入れ」「療育支援の充実」「病児保育の充実」の計画と、進捗状況は (7) この事業をよりよいものにするため、専門職や研究者、現場の保育士、保護者などによる検討委員会の設置を (8) 富田林市の幼稚園、保育所のあり方基本方針について ①保育現場と専門家を含めたプロジェクトで、現状の的確な把握や分析を行い、保育所や幼稚園のあり方の提言を出すべきでは ②幼稚園のトイレの改修と、保育室への早急なエアコン設置を (9) 今年6月の、2歳の女の子の置き去り死亡事件などに、市として今後の対策と保育の現場などでの虐待防止のための具体的な改善は

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. 物価高騰のなかでの、市民の暮らしを応援する、緊急対策と施策を	(1) 赤ちゃんの誕生を支援する、「プレママ・ハッピーライフサポート制度」の復活を (2) 子育て支援のために、収入にかかわらず第3子の子どもの幼稚園や保育料を無料に (3) 18歳までの子どもの病院での500円の医療費窓口負担を無料に (4) 学校給食の無償化の着手を (5) 金額は少なくとも、市独自で大学生のために給付制の奨学金制度を (6) 高齢者の移動を助けるために、バス・タクシー運賃の割引や無料券の発行を (7) 高すぎる国民健康保険料や均等割りへの減免制度を (8) 上下水道料金の引き下げを (9) 国に対し、消費税の減税を求めて、市民の暮らし応援を
		4. 公共交通の充実を求めて	(1) 地域公共交通を確保するための「財源」の確保について、国に対して、市からどのような要望をしているのか (2) 公共交通事業者の撤退を防ぐためにも、交通事業者に対する市の補助を増やすことについて見解を (3) また、高齢者の移動の権利を保障する具体策について見解を (4) 「レインボーバスのあり方検討分科会」に、地域の住民の声や、実際にレインボーバスを利用している市民の声を取り入れる、メンバー構成の見直しを (5) レインボーバスの料金の2倍化など、市民負担を増やす料金値上げはすべきでないと考えるが見解を (6) レインボーバスは廃止、縮小ではなく、より一層の充実を求めるが、見解を (7) 彼方上地区以外の地域についても、市民の声を聞きデマンドタクシーの実証実験、本格運行などを進めるべきでは
7	10番 左近 憲一 (質問方式) 一問一答	1. 日本国憲法・地方自治法について	(1) 刑法に関わる案件が優先するのか議会案件が優先するのか (2) 公職選挙法について (3) 問責議案の意味について
8	18番 中山 佑子 (質問方式) 一問一答	1. 相次いで死傷者が出てしまった富田林の だんじり	<p>10月14日午後9時45分ごろ、北大伴町1丁目の路上でだんじりが横転し、引き手の男性4人が下敷きになり、一人が死亡し、三人が骨を折るなどのけがを負いました。</p> <p>2日後の10月16日午後1時35分ごろ、桜井町の交差点で、だんじりが交差点を左折したところ、見物をしていた20代の女性に接触し、胸の骨などを折る重傷を負いました。</p> <p>北大伴町のだんじりが横転した事故は、小屋に戻る途中にだんじりをとめて、左右に揺らす『横しゃくり』をしていたときに起きました。大きく重いだんじりを左右に揺すれば、だんじりを思うように扱えず横倒する可能性は高く、かなり危険な行為と言わざるを得ません。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>また、桜井町1丁目の接触事故は、富田林署によると、交差点を勢いよく左折し、神社への宮入りをしようとしていた際に、女性が交差点で巻き込まれたとみられる。このような事故が起こるといことは、スピードを出し過ぎていたものと思われます。</p> <p>まず、（1）本市は、このような事故を防止するために何か対策をしていますか。また、本市は、だんじりパレードには補助金を出しましたが、今般の秋のだんじり祭りでは、どのような支援や関与をしていましたか。</p> <p>（2）北大伴町のだんじり横転では、52歳の男性の方が亡くなりました。また、働き盛りと言っても過言ではありません。ご遺族の方には、十分な補償がされているのでしょうか。また、桜井町でのだんじり接触事故では、20代の女性の方は、命には別条はなかったものの後遺症が残り、損傷した機能が元通りに回復するかどうかは不明であると聞き及んでおります。だんじりに巻き込まれた方の補償はどうなっていますか。</p> <p>次に、だんじりは、脈々と受け継がれてきた伝統とのことですが、本市のだんじりは、きちんと伝統を継承しているのでしょうか。わたくしは、疑問に思います。</p> <p>というのも、10月14日午後8時から神社の上拝殿において、秋季大祭が斎行されるので、参列させて頂きました。</p> <p>大祭においては、神様をお招きする前に心身の罪穢を払う、お祓いの修祓があり、その次に神様に降りて来て頂く降神の儀がとり行われました。その降神の儀の最中に、スピーカーから曳歌が流れてきたのです。その後の湯立神楽では、雅楽の音色が全てスピーカーからの曳歌でかき消されていました。</p> <p>だんじりいわゆる山車で、神様をおもてなしするというのが秋祭りのはずです。もちろん、そのお祭りを楽しむのは大いに結構ですが、だんじりという伝統を継承していくというのであれば、本市の場合は、順序が逆になっているのではないのでしょうか。</p> <p>（3）本市は、だんじりという伝統文化をどのように認識していますか。</p> <p>（4）市民の方から、だんじりのスピーカーのボリュームが大きく、せつかく寝た子どもが起きる、仕事があるのに眠れない等の苦情を伺っております。昔は、マイクやスピーカーは使用せず、肉声のみの伝統的な曳き唄だったとのことですが、どのような変遷があり、現在のスピーカー付きの地車となったのでしょうか。</p> <p>最後に、（5）だんじり曳行における事故が二度と起こらないよう、本市は、警察とどのような連携をとっていますか。また、スピーカー騒音問題についても、今後どのように取り組むのかも含め、本市の対策をお聞かせ下さい。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. 財政の見える化	<p>12月となり、予算編成のため、財政課の職員の方は、お忙しいことと存じます。さて、その予算編成ですが、大阪府では、予算編成過程をホームページで公表しており、編成過程の財政課長要求・査定、財務部長要求・査定、知事要求・査定がそれぞれ終了した段階において、各部局からの要求事業内容及びその査定状況の詳細がわかります。</p> <p>大阪府では、予算編成過程を公表するために、専用のソフトを導入しているとのことですが、さいたま市では、そのような専用のソフトなしに、予算編成過程を分かりやすく公表し、積極的な行政情報の「見える化」に取り組んでいます。</p> <p>（1）本市も、予算編成過程を分かりやすく公表すべきと考えますが、本市の見解をお聞かせください。</p> <p>次に、令和3年度決算において、本市の委託総額は、金51億5874万円で、委託件数が約800件ということがわかりました。引き続き、この委託契約については、見直す必要があります。</p> <p>さて、吹田市では、オープンデータとして「委託金額（決算額）が500万円以上の委託契約一覧」、「過去5年間で委託料又は委託先が3年以上変化のない委託業務一覧」をホームページで公開しています。素晴らしい取り組みと思い、吹田市に問い合わせたところ、市議会において決算審議に係る委員会で要求されていた資料で、市民の皆様への情報公開の推進と当該委員会事務の効率化を図ることを目的に平成28年度からホームページに掲載していたとのことであった。</p> <p>本市の委託契約一覧表は、非公開であるうえ、委託業者名がない等、吹田市と比べると行政の透明性が低いと言わざるを得ません。</p> <p>そこで、（2）行政の透明性・信頼性の向上のため、本市は、吹田市のように、委託契約一覧表をオープンデータとしてホームページで公開することは出来ないのでしょうか。本市の見解をお聞かせください。</p>
		3. 動物愛護管理法を学びましょう	<p>さて、本市の環境衛生課では、動物愛護管理法の精神に基づき、地域猫活動がすすめられております。市民の方から、担当職員さんが説明してくれたおかげで、トラブルが無くなった等のお声を頂いております。</p> <p>しかし、動物虐待遺棄の問題が解決しておりません。</p> <p>今年8月、明らかな動物虐待遺棄案件であるにもかかわらず、富田林警察署が『落とし物』としてしか扱わなかったという相談を受けました。</p> <p>猛暑の中、糞尿だらけの黒のキャリーバッグから瀕死状態のネコが前足だけで抜け出していたのを市民の方が見つけられました。犯人は、ネコの脚部に褥瘡等の負傷が認められて衰弱しているのに適切な保護を行わず、愛護動物を虐待するとともに、同猫を黒のキャリーバックに閉じ込め、富田林市内に遺棄したという事案です。</p> <p>わたしたちが大阪府警本部と協議し、最終的に、9月28日、富田林警察署が犯人不詳の動物愛護管理法違反の告発状を受理したので、現在は、犯人逮捕に向けて捜査をしているとのことでした。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>問題は、富田林警察署が動物虐待事案を拾得物として扱ったということです。</p> <p>愛護動物を虐待したり遺棄したりすることは犯罪です。</p> <p>今回のケースでは、愛護動物に対し、みだりに身体に外傷を生ずるおそれのある暴行を加える、またはそのおそれのある行為をさせる、えさや水を与えずに酷使する等により衰弱させるなど虐待を行った者は、1年以下の懲役または100万円以下の罰金が科せられます。</p> <p>(1) 本市は、防犯等で警察と連携をとっているとのことですが、どのような連携をとっていますか。</p> <p>(2) 愛護動物の虐待や遺棄をなくすため、今後の本市の取り組みをお聞かせ下さい。</p>
		4. 集合住宅等の戸数申請による水道料金の特例制度(戸数計算特例)について	<p>本市内で学生アパートを管理されている方から、「西宮市や三田市のような戸数計算特例制度が富田林市にもあれば、学生さんが支払う水道料金の負担が軽減されるので、調べてみてください。」との依頼がありました。</p> <p>この点につき、三田市のホームページでは、「集合住宅等(一つの建物内に2戸以上の住居・店舗等を有するアパート等)において、1個の水道メーター(親メーター)を設置し、複数の住居・店舗等で共用する場合、建物全体の使用水量に基づいて水道料金を算定しているため、各戸検針が行われている集合住宅等の各戸の水道料金の合計に比べて割高となる場合があります。</p> <p>そこで、水道料金の負担の公平化を図るため、お客様からの届出により、各戸に口径20ミリメートル以下の水道メーターが設置されているものとみなして、戸数に応じて水道料金を算定する制度(戸数計算特例)があります。」と記載されていました。</p> <p>(1) 大阪府下で、戸数計算特例制度を設けている自治体が幾つあるのか、その自治体名を教えてください。</p> <p>(2) 本市も戸数計算特例制度を導入すべきと考えますが、料金の比較に基づき、本市の見解をお聞かせください。</p>
		5. 廿山の開発工事について(盛り土の搬入)	<p>市民の方から「廿山の開発工事について調査して欲しい。盛り土の搬入が多く、熱海土石流災害のような事故が起きないか心配だ。」という声があがっています。</p> <p>先日、わたくしは、開発指導要綱協議書、開発許可申請書一式を閲覧しましたが、そもそもの量が多く、何度も変更しているため、非常にわかりにくいものでした。</p> <p>(1) 本開発における土量配分計画を教えてください。計画では、盛り土は、どこから何m³搬入することになっていますか。現在、何m³搬入しましたか。</p> <p>(2) 開発工事の変更については、周辺の市民の方に対し、説明していますか。</p> <p>(3) 本市は、熱海土石流災害のような事故が起きないように、廿山の開発工事の安全性をどのようにチェックしていますか。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		6. とんだばやし発見出前講座について	<p>本年11月12日、富田林きらめき創造館(通称Topic)において、財政課と行政管理課の出前講座及びSIMとんだばやし2030の体験ゲームを企画していましたが、とんだばやし発見出前講座実施要綱第8条第1項第2号に該当するとして、取り消されました。</p> <p>同要綱8条は、次のとおり規定されています。</p> <p>「推進本部は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、本講座の実施を許可せず、開催中であっても講座を中止することができる。</p> <p>(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を阻害するおそれのあるとき。</p> <p>(2) 政治、宗教又は営利を目的とするおそれのあるとき。</p> <p>(3) 本事業の目的に反すると認められるとき。」</p> <p>2号の「政治、宗教又は営利を目的とするおそれのあるとき。」で中止することができるとするのは、あまりに広範と言わざるを得ません。</p> <p>この点につき、堺市生涯学習まちづくり出前講座実施要綱は、第2条第2項第2号で『特定の政党又は宗教を支持し、又は反対することを目的とした集会等を行うおそれがあるとき。』と規定しています。</p> <p>教育基本法第14条1項は、「良識ある公民として必要な政治的教養は、教育上尊重されなければならない。」と規定され、2項で「法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。」と規定しています。</p> <p>本市の規定の仕方であれば、教育基本法第14条に抵触するのではないのでしょうか。堺市生涯学習まちづくり出前講座実施要綱を参考にすべきと考えますが、本市の見解をお聞かせ下さい。</p>
9	13番 村瀬 喜久 一郎 (質問方式) 一問一答	1. 本市での選挙における候補者の一層の多様性確保のための取組について (この度は特に、子育て当事者の立候補にまつわる環境等について)	<p>(1) いわゆる「子連れ選挙」についての本市の対応等について</p> <p>①子育て当事者が候補者として選挙運動を行う場合の公職選挙法第137条の2の適用のあり方について (東京都選挙管理委員会作成の「選挙Q&A」の内容を参考に) (また、令和4年11月9日の参議院政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会における総務大臣による答弁の内容を踏まえて)</p> <p>②子育て当事者である候補者(予定者を含む)をはじめ、各候補予定者等からの問い合わせ等への対応について</p> <p>③立候補説明会等での各候補予定者等への周知について</p> <p>④警察との連携について</p> <p>(2) 子育て当事者が立候補する場合(準備期間も含めて)の保育所等利用について (厚生労働省の見解も踏まえた本市としての対応等について)</p> <p>①選挙運動及びその準備のために勤務先を退職した場合の保育所等継続利用について</p> <p>②選挙運動及びその準備のために新たに保育等を必要とする場合について</p>
		2. 本市における乳児のための防災等の対応・取組について	<p>(1) 避難所等における環境整備や啓発活動について</p> <p>①就寝環境について</p> <p>②食料品の備蓄について</p> <p>③民間での新たな取組も含めた意識共有等、啓発について (堺市等での取組を参考に)</p> <p>(2) 母子健康手帳への防災啓発の記載について (令和4年9月20日付、「母子健康手帳、母子保健情報等に関する検討会」による「母子健康手帳の見直し方針について」も参考に)</p>

令和4年第4回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. 性的マイノリティの方々への本市としての対応・取組について	<p>(1) 当事者である本市職員（採用希望者を含む）への対応・取組について</p> <p>①採用試験を受験する当事者の方々への対応・取組について</p> <p>②ファミリーシップ宣誓をしている職員について、育児休業等の福利厚生制度を法律婚と同様に適用することについて （民間企業等での取組を参考に）</p> <p>(2) 学生等の若年当事者に特化したコミュニティスペース等の開催について （兵庫県西宮市での取組を参考に）</p> <p>(3) 当事者の方々のいわゆる「終活」への対応・取組について</p>